

## 圏外のアンテナ

[気になるニュース]の巻

朝ランでも仕事でも、肌身離さずといえば、あの緑色のSuica（スイカ）カードである。「スマホで使えるモバイルスイカにすればいいのに？」とよく言われるが、過去に一度怖い目を見てから、モバイルスイカ恐怖症になった。

出張の日の朝、突然スマホの画面が真っ暗けになって、最寄駅の自動改札機に通せんぼを食らったのだ。おそらく夜中の充電をミスったんだろう。しまった現金がない。と、ジタバタあせって思い出したのが、いざという時のために隠し持っていた千円札だ。それをカバンの底から引っ張り出して紙のきっぷを購入。何とか目当ての飛行機に間に合ったが、夢でうなされそうな思いをしたことで、カード使いに戻ったというわけだ。

さて、6月の中旬、大手町駅の壁面に1枚のポスターが貼ってあった。「Suicaカード（無記名）の発売を一時中止します」とある。一大事じゃないか！

調べてみると、PASMO（パスモ）とともに、世界的な半導体不足の影響でICチップが入手困難になったためらしい。さらに8月には、記名タイプまでが発売中止に。

幸い、同様の事態は全国の交通系カードの中でスイカとパスモだけ。JR東海のTOICA（トイカ）やJR西日本のICOCA（イコカ）などの発売は通常通りみたい。

そういえば、以前、大阪から出張で来ていた取引先の人が「イコカはチャージ額が足りなくても、自動改札機を通してくれるが、スイカはチャージが足りないと入口でシャットアウトやっ！」とボヤいていた。

実はカードではなく、JR東と西の、そもそものシステムの違いが原因らしいのだが、彼は「イコカはスイカより人情があるねん！」と力説していたっけ。

かように人情味のないスイカだが、ひょっとしたら、これを機に、カードからモバイルに移行せよという魂胆なのか。スイカカードの運命や、いかに？

=2023年10月13日掲載=

